

# バンコク日本人学校だより

H 2 3 年度派遣 板倉 亨

## 〔タイ王国について〕

タイ王国は、インドシナ半島のほぼ中央に位置し、陸ではマレーシア、ミャンマー、ラオス、カンボジアの4カ国に囲まれ、海岸線ではタイ湾（シャム湾）とアンダマン海に面しています。タイ王国の面積は約51万4千k㎡で、日本のおよそ1.4倍の広さがあります。そのうち農地面積は約40%で、日本の約4倍です。

現在のタイにタイ族の国ができたのは13世紀のことです。しかし、その祖先（タイ語系民族）は、紀元前には中国四川省や雲南省の辺りに部族国家を形成し散在していたと言われていたほど、古い歴史をもった民族です。彼らは稲作の適地を求め、次第に半島部へ向かって南下し、1世紀の頃にはタイ領北端辺りまで下って来て、アイラオ(ailao, 哀牢) 王国をつくりました。その後、興亡を繰り返しながら南下を進め、半島部に勢力を張っていたモン・クメール系民族（カンボジア軍）を1238年に撃破して、スコータイ付近にスコータイ王国を建てました。これがタイ民族の統一国家で、以来700年余りにわたり、4つの王国が興亡しています。タイ人は年長者など目上の人を敬い、礼を尽くす国民です。尊敬や感謝を表すときやあいさつの際に、自分の前で両手を合わせるワイ（合掌）をします。また、一般的にサバーイ（快適）とサヌック（楽しい、面白い）を重要視し、束縛されることを嫌います。



## 〔タイの首都バンコクについて〕

「世界一の交通渋滞都市」と言われている通り、平日におけるバンコク市内の交通渋滞は凄まじいものがあります。自動車の台数の増加と、道路等のインフラ整備の不足が大きな原因と思われる。BTS と呼ばれる高架鉄道や地下鉄などの大量輸送施設の整備も整いましたが、渋滞緩和にはまだまだ十分とはいえません。バンコク市内の地理とタイ語にも慣れてきますと、市内を走るタクシー、タイ名物のサムロー（昔の三輪ミゼット＝トゥクトゥク）等も手軽に利用して移動出来るようになります。タクシー（初乗り1キロで35 バーツ 1 バーツ＝約3円）の場合は、まず行き先を告げて、行け



るかどうかを確認して乗ります。日本では考えられませんが、行き先によっては乗車拒否も良くあります。また、サムローは料金を交渉してから乗るなどの注意が必要です。なお、どちらも深夜の利用はあまりお勧めできません。

### 〔バンコク日本人学校について〕

本校は、昭和49年7月24日以降、タイ国私立学校法によってタイ国文部省の管轄下にあります。このタイ国私立学校法に基づき、学校の設置者（所有者）は、それまでの在タイ日本大使館から、タイ国の法人である泰日協会となり、学校の正式名称も「泰日協会学校」と改められました。「バンコク日本人学校」という名称は、日本及び日本人向けの名称です。学校には理事会があり学校経営上の最終的な決定等を行っています。その下でタイ国行政に関する学校の代表をディレクター、日本及び学校運営に関する代表を校長が行っています。つまり、日本人の教師が、日本語及び日本のカリキュラムにより、日本人子女の教育を行っているタイ国の私立学校ということです。

バンコク日本人学校は、世界の日本人学校の中で一番歴史が古い学校です。また、平成23年4月20日現在の児童生徒数は2,555人、教職員総数154名の大規模な学校になっており、単一校では世界最大規模です。タイ文部省の規定により、小学部1年から全学年、週1時間のタイ語学習が必修となっています。5月に完成したばかりの200メートルタータントラックや50メートルプールなど、施設の整った素晴らしい学校です。教材教具も日本の学校並みに揃っており、教育活動を行っているうえで、海外ゆえのハンディキャップはあまり感じられません。



本年度バンコク日本人学校キーワードとして

「夢をもち 夢を語り 夢にむかう 児童生徒・教師」

を掲げ、職員一同が連携し、与えられた任務の中で最大限の力を発揮することなどを指導重点目標にして、日々の教育活動に従事しています。

着任してまだ日も浅いですが、タイ王国の文化を学び、子どもの夢の実現にも向かっていこうと、日々研鑽を重ねる毎日です。派遣の辞令を頂いている教師として、これから鳥取県教育の国際理解教育発展に帰依していきたいと思っています。